



平成30年1月31日

各 位

会社名 株式会社アйдママーケティングコミュニケーション
代表者名 代表取締役 蛭谷 貴
(コード番号：9466 東証第一部)
問合せ先 常務取締役経営管理部長 中川 強
(TEL. 076-439-7880)

「SBI AI & Blockchainファンド」への投資に関するお知らせ

当社は、平成30年1月31日開催の取締役会において、SBI インベストメント株式会社が運営するSBI AI & Blockchain 投資事業有限責任組合（以下「SBI AI & Blockchain ファンド」）へ出資することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. SBI AI & Blockchain ファンドへの出資理由

近年、AI（人工知能）やBlockchain（分散型台帳）技術の発展に伴い、FinTech、IoT、ヘルスケア、ロボティクス、シェアリングエコノミー等の領域において、今後、新たなサービスや産業の創出が期待されております。

AIやBlockchainはこれらの将来性が見込まれる事業領域におけるコアテクノロジー（基軸技術）として注目されており、優れた技術やサービスを有し、急成長しているスタートアップ企業が増加しております。

当社は、スーパーマーケットやドラッグストアをはじめとした流通小売業へ統合型の販売促進支援サービスを提供しておりますが、流通小売業界ではECを含めた異業種間の競争や、消費者行動のデジタル化など当社を取り巻く環境は変化しております。

このような環境においては、AIをはじめとしたIT技術に関して、最新の動向・技術・サービスの情報収集を継続的に行うとともに、当社のサービス開発にも戦略的に対応していく必要があると考えております。

SBI AI & Blockchainファンドは、AI & Blockchainに関連する領域において、イノベーション創出が期待できる独自性の高い技術・サービスを保有し、今後将来性が見込まれる国内外の非上場企業を投資対象とするファンドであります。ファンドの運営者であるSBIインベストメント株式会社はベンチャー企業の発掘、育成を行っており、ファンド出資者と投資先企業とのオープンイノベーションを支援し、投資先企業のバリューアップを行うとともに、出資者による新技術の導入・活用を推進しております。

当社がSBI AI & Blockchainファンドを選定した理由は、当社の属する流通小売業界は、AI & Blockchainをコアテクノロジーとした先端技術・サービス導入により、物流、マーケティング、販売促進手法、代金決済等の環境が変化していくと見込んでおり、ファンドへの出資を通じた情報収集や当社とシナジーの見込める関連企業への投資・提携等についても積極的に検討していけると判断したためであります。

当社では、従前よりデジタル販促や広告メディアサービスの強化に取り組んでおりますが、今後も中長期的な視点での新たな付加価値提供と持続的な成長に努めることで、株主価値向上に取り組んで参ります。

2. SBI AI & Blockchain ファンドの概要

項目	内容
名称	SBI AI&Blockchain 投資事業有限責任組合
投資対象	AI およびブロックチェーン分野を中心とした有望なベンチャー企業
目標出資約束手総額	500 億円
当社出資額	1 億円
設立時期	2018 年 1 月
運用期間	約 10 年
無限責任組合(運営者)	SBI インベストメント株式会社

3. 今後の見通し

本件が当社の今期業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、中長期的には当社の業績の向上に資するものと考えております。なお、今後の状況により公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上